

和泉保育園 重要事項説明書

保育・教育の提供の開始にあたり、当園があなたに説明すべき内容は、次のとおりです。

1 事業者の運営主体

事業者の名称	社会福祉法人相模和泉福祉会
事業者の所在地	相模原市中央区青葉2丁目8番2号
事業者の電話番号・FAX	電話:042-756-3044 FAX:042-756-3058 E-Mail:izuminokodomo@izumihoikuen.jp
代表者氏名	理事長 片山 知子
定款の目的に定めた事業	第2種社会福祉事業 保育所 和泉保育園の経営 一時預かり事業の経営

2 施設の概要

種 別	保育所					
名 称	和泉保育園					
所 在 地	相模原市中央区青葉2丁目8番2号					
電 話 番 号 ・ F A X	電話:042-756-3044 FAX:042-756-3058 E-Mail:izuminokodomo@izumihoikuen.jp					
施 設 長 氏 名	福 田 薫					
開 設 年 月 日	昭和53年4月1日					
利 用 定 員 (年 齢 別)	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
	9名	20名	23名	26名	26名	26名
取 扱 う 保 育 事 業	一時保育・延長保育・さがみん保育					

3 施設の目的、運営方針

目 的	認可保育所
運 営 方 針	子どもの人権や主体性を尊重し、児童の幸福のために、保護者や地域社会と力を合わせ、児童の福祉を積極的に行って行きます。児童の福祉を積極的に進めるために職員は、豊かな愛情を持って接し、子ども達の処遇向上のために日々努力を重ねていきます。子ども達にとって楽しい保育園生活になるように保護者と職員がお互いに協力していきます。

4 職員体制

施 設 長	1人 (資格:保育士)
保 育 士	27人 (常勤 21人 非常勤 6人)
調 理 員 (栄 養 士 除 く)	5人 (常勤 2人 非常勤 3人)
看 護 師	人 (常勤 人 非常勤 人)
栄 養 士	1人 (常勤 1人 非常勤 人)
事 務 員	1人 (常勤 1人 非常勤 人)
そ の 他	2人 (常勤 人 非常勤 2人)

5 クラス編成

年 令	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
クラス名	ひよこ	りす	うさぎ	こあら	ぱんだ	ぞう

6 保育・教育を提供する日・時間

開 所 日	4月1日～3月31日
休 所 日	12月29日～1月3日
開 所 時 間	月～金曜日 午前7時～午後7時 土曜日 午前7時～午後6時

7 提供する保育・教育の内容

児童福祉法、子ども・子育て支援法、その他関係法令等を遵守し、保育所の保育指針及び保育課程に沿って、乳幼児の発達に必要な保育・教育を提供します。

≪ 毎日の保育・教育の流れ ≫

時 間	乳 児	幼 児	土曜保育
7:00 7:30	開園 保育標準時間 (11時間) 開始 順次登園	開園 保育標準時間 (11時間) 開始 順次登園	開園 保育標準時間開始 順次登園
8:30	保育短時間 (8時間) 開始 順次登園	保育短時間 (8時間) 開始 順次登園	保育短時間開始 順次登園
9:30	おやつ 午前の保育活動	午前の保育活動 (保育計画による活動)	おやつ(乳児) 午前の保育活動 (乳幼児合同保育)
10:00 10:50	遊び(室内外)・散歩 食事 (年齢により前後します)		
11:00		食事準備 食事 (年齢により前後します)	食事 (年齢により前後します)
12:00	午睡 (年齢により前後します)		午睡 (年齢により前後します)
13:00		午睡 (年齢により前後します)	
15:00	起床 おやつ 午後の保育活動	起床 おやつ 午後の保育活動	起床 おやつ 午後の保育活動
16:00 16:30	順次降園 保育短時間終了	順次降園 保育短時間終了	順次降園 保育短時間終了
18:00 19:00	延長保育	延長保育	18:00 土曜保育時間終了

◀ その他・年間行事 ▶

入園式	進級式	イースター礼拝	花の日礼拝	七夕
引き渡し訓練	移動動物園	感謝祭礼拝	焼き芋会	子ども祝福式
アドベント礼拝	クリスマス礼拝	発表会	人形劇観劇会	
お別れ遠足(5歳児)	お別れ会(5歳児と在園児のお別れ会)			
卒園式	毎月誕生会	各期始業礼拝・終業礼拝		
交通安全教室	避難訓練・防犯訓練	子育て支援講演会など		

8 給食等について

<p>主食代 1000円 副食代 6000円 現金払い 月末 25日～30日に当月分をお支払い下さい。 給食費の実費徴収は3, 4, 5歳児が対象です。</p>
--

	提供内容				1日の給食 摂取カロリー
	午前おやつ	給食		午後おやつ	
		主食	副食		
0歳児 <ひよこ>	○	○	○	○	約500kcal
1歳児 <りす>	○	○	○	○	
2歳児 <うさぎ>	○	○	○	○	約500kcal
3歳児 <こあら>		○	○	○	約580kcal
4歳児 <ぱんだ>		○	○	○	
5歳児 <ぞう>		○	○	○	
全年齢	アレルギー食対応（医者の診断書が必要）				

9 保護者に用意していただくもの

(1) 入園時にご用意いただくもの

* 別紙『入園のしおり』参照

(2) ★ 毎日持参するもの — 別紙『入園のしおり』参照 —

乳 児 < ひよこ・りす・うさぎ組 >

こひつじノート 連絡帳(記入用) 口拭きタオル(3枚)

エプロン(3枚) 着替え 紙おむつ又は紙パンツ

※使用済み紙おむつは園で処分いたしますので持ち帰りはありません。

幼 児 < こあら・ぱんだ・ぞう組 >

こひつじノート おたより帳(記載事項が無くても必ず持参下さい)

手拭きタオル(2枚)

コップ(コップ袋に入れて下さい) 箸(ナフキンに包んで下さい)

※幼児クラスの方は上記の物品を通園カバンに入れて持って来て下さい。

★ 月曜日に持ってくるもの

・乳児、幼児とも午睡用タオルケット(手提げ袋に入れてお持ち下さい。)

・上履き

※いずれも週末に持ち帰り洗って下さい。

(3) 服装について —『入園のしおり』参照—

* 動きやすく着脱しやすいもの

(遊びやすく汚れてもいいような洋服にして下さい。)

* 靴は、足に合ったもの

(4) その他ご用意いただくもの

ご協力いただく場合のみご連絡いたします。

10 健康診断、健康管理について

(1) 健康診断

学校保健安全法（昭和33年法律第56号）に規定する健康診断に準じて以下のとおり実施しています。

園児健康診断：全園児（年2回） 尿検査：全園児（年1回）
身体測定：健診に合わせて行います
乳児健診：年4回（0～1歳児）
頭囲・胸囲測定（入園時、1歳11カ月まで年2回）
歯科検診：全園児（年2回）

(2) 健康管理、病気について

登園している時、発熱の場合は基本として37.5度でご連絡いたします。
発熱以外の場合（下痢・嘔吐・咳・鼻水・湿疹・目の充血・腹痛・食欲不振・機嫌が悪いなど）、伝染性の病気が疑われる時など、熱が無くてもお子さんの様子を見てご連絡いたします。
ご家庭で体調が悪い時は、熱が無くても様子を見てください。
そして、必ず、病院に行きお医者様の指示を受けて下さい。

11 感染症対策について

感染症や食中毒が発生、または蔓延しないように国の「保育所における感染症対策ガイド」及び「相模原市園医の手引き」に則し、感染症及び食中毒の予防のための衛生管理を適切に実施します。

* 『入園のしおり』参照

12 支援保育

各クラス（お子さんの年齢のクラス）で他の子ども達と一緒に過ごし、その中で個々に合わせた個別の支援保育計画のもと行います。

13 嘱託医

以下の医療機関（小児科・歯科）と嘱託医契約を締結しています。

医療機関の名称	せきね小児科クリニック	おくもり歯科医院
嘱託医名	関根 徹	奥森 悦子

14 地域の育児支援について

* 一時保育	月曜日～金曜日 午前9時～午後4時までの間 4時間以内（3歳未満 1500円 3歳以上 1000円） 4時間以上（3歳未満 2500円 3歳以上 2000円） 幼児は給食代1食350円
* 特定保育	月曜日～金曜日 午前9時～午後4時までの間 就労などで週3日までの利用、金額は一時保育と同じ
※ 一時・特定保育は事前電話予約。面接あり	
* 育児相談	随時
* 園庭開放	月曜日～金曜日 午前10時～11時 雨天中止（降雪中止） 夏季・冬季は中止することがあります。
* いずみキッズ	イベント 講演会 園庭開放 図書貸し出し

15 個人情報の取り扱いについて

入園に際して提出された個人情報については保育上必要なことにのみ使用し、適正に管理いたします。園内で撮影した画像のホームページ等での掲載については同意書による確認をさせていただきます。

16 業務の質の評価について

保育所の自己評価	実施方法：保育士等の自己評価に基づき職員会議で検証 保護者へのアンケート実施 公表方法：園内掲示
外部評価	実施方法； 未実施 実施回数： 公表先：

17 非常災害時の対策

(1)本園が土砂災害警戒区域内で、風水害等による「警戒レベル」の避難情報が発令された場合は相模原市公立保育所の対応に準じて次のような対応を致します。

●警戒レベル3「避難準備・高齢者等避難開始」が発令された場合は安全のため登園を自粛いただき、閉園といたします。

(2)非常災害に関する具体的な計画を定め、防火管理者を定めています。非常災害時の関係機関への通報及び連携体制を整備し、それらを定期的に職員に周知するとともに、毎月1回以上避難及び消火、救出その他必要な訓練を実施しています。

防火管理者	福田 薫
消防計画届出年月日	相模原消防署 2023年3月30日
避難訓練	消火訓練、消防署と合同訓練 年2回 火災・地震を想定し、年間12回実施(室内待機、園外避難等)
防火設備	消火器、誘導灯、火災報知器、火災通報専用電話

(3)不審者対応として、園内外に防犯カメラを設置し24時間セキュリティ対策をとっています。園への出入りはICカードで管理しています。園内ではICカードを携帯していただきます。ICカードは在園期間のみ貸与します。防犯訓練も実施しています。

18 賠償責任保険の加入状況

以下の保険に加入しています。

保険の種類	賠償責任保険／日本スポーツ振興センター災害共済給付制度
保険の内容	対人対物責任保険／災害共済給付
保険金額	対人賠償1億 対物賠償1千万円／医療費、見舞金給付

19 苦情相談窓口

要望、苦情等に係る窓口を以下のとおり設置しています。

相談・苦情受付担当者	氏名 中川西 真弓	
	電話番号 042-756-3044	
相談・苦情解決責任者	氏名 福田 薫	
	電話番号 042-756-3044	
第三者委員	かながわ保育研究会 利用者相談室	電話番号 0463-83-0516
		受付方法:電話、面接、電話、文書
第三者委員	大下 聖治	

2024年度 保育所反省

A : たいへん良い
 B : 良い
 C : 一部改善を要する
 D : 改善を要する

項目	内容	評価				
		A	B	C	D	反省
保育理念について	(1) 保育理念を理解し、理念に沿った保育をおこなっているか。		○			理念に沿った保育を全職員が心がけているが、さらにキリスト教保育指針を学ぶ機会を園内で作っていくことが必要だと考えている。
	(2) キリスト教保育指針を学び、保育実践を心がけているか。		○			
保育目標について	(1) 保育目標を具体化し、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。		○			保育目標を設定し、保育をおこなっている。保護者にはアンケートを実施し、願いが反映できるよう、毎年検討を行っている。
	(2) 設定した重点目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			人権に対する研修に参加するなど、職員全体での意識向上に努めていく。ノンコンタクトタイムの取得のさらに計画に入れていく。
	(2) 人権を尊重した保育を常に心がけているか。	○				
行事について	(1) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			行事に対しては関わっているクラスに限らず、職員みんなですすめていけるよう、集団を高めていくことが必要だと考える。
	(2) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
組織・運営	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になるよう努力しているか。		○		職務分担を明確にしていくとともに、それぞれが業務に集中できるよう、クラスの援助、保育体制作りを意識している。さらに、お互いに協力しあえる職員集団となるよう、人材育成に努力していく。
		(2) 職務内容を理解し、協働できる体制になるよう努力しているか。		○		
		(3) 割り当てられた係や仕事を完遂する努力をしているか。		○		
	運営	(1) 自己の職責を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○		会議の充実と建設的な意見交換を目指していく。
		保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような、具体的保健対策を行っているか。		○	
	(2) 避難訓練・交通安全指導、防犯指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。		○			計画に基づいて実施している。定期的に見直しもしている。
	(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成の、家庭への啓発を行っているか。		○			園だより、食育だより、保健だよりでおこなっている。
	(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○			市役所、保健所、療育センター、療育施設、児童相談所、など連携している。

項目		内容	評価					
			A	B	C	D	自己評価	
資質向上	研修	(1)資質向上及び保育の質向上のための園内研修会には積極的に参加し、自己研鑽に努めているか。		○			外部研修には71講座延べ82名が受講。キャリアアップは12名が受講した。園内研修も実施し、課題を見つけて取り組むことができた。	
		(2)研修会、講習会興味を持ち、自ら積極的に参加しているか。また記録を期日を守って提出しているか。		○				
施設・環境		(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行い、不都合が生じた場合には迅速な報告・対応・処置を行っているか。	○				定期的にワックスがけなどのメンテナンスを実施するとともに、整備、修繕もおこなっている。	
		(2)安全で乳幼児の活動に望ましい環境作りに努力をしているか。		○			環境作りには各クラスで取り組んでいるが、園内研修でもテーマにし、全クラスで努力していけるようにしていく。	
		(3)環境の構成を意識した保育や過程を常に行っているか。		○				
開かれた保育所づくり		家庭・地域との連携	(1)保護者や地域の人たちと連携しているか。		○			連携小学校、中学校との交流、架け橋プログラム作成、中学生職場体験受け入れ、インターンシップ受け入れなど地域と連携し、開かれた保育園作りを目指している。老人施設、障がい者施設との交流も実施している。
			(2)乳幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。また、その意義を理解しているか。		○			
			(3)地域、関係機関と連携を図っているか。	○				
		子育て支援	(1)地域の子育てセンターとして、保育園の実績や状況に応じながら事業を計画し、積極的に実施しているか。	○				事業計画に基づいておこなっている。地域の親子が来園しやすいような内容を今後も考えていきたい。地域にイベントのチラシをポストインするなど、宣伝も工夫している。園庭開放以外の呼びかけもおこなっている。
			(2)地域に住む親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行う意義を理解し、前向きに行っているか。		○			
		評外価部	(1)地域の保育園理解に積極的に努めているか。また、保護者の意見を知る努力をし、保育に反映させているか。	○				